

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (九州)	◎	商店街（代表者）	・当県では、65才以上のワクチン接種が7月中で終了し、その後も各年齢層のワクチン接種が進んでいくと当然動きが活発になり、消費や売上が戻ってくると予想されるため、3か月後には上向いていく。
	◎	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種次第であるが、新規感染者数が減少することに期待している。
	◎	乗用車販売店（従業員）	・ボーナス商戦が始まり、良くなっていく。
	◎	一般レストラン（スタッフ）	・ワクチン接種の普及と、コロナ慣れも出て、人の往来が増加する。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・ワクチン接種の広がりとともに、徐々に客が戻ってくると予想している。
	◎	競馬場（職員）	・客の入場が増加していくと予想している。
	○	商店街（代表者）	・ワクチン接種も徐々に広がりつつあり、6月から若干景気が良くなると期待をしている。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で、人の動きがない。ワクチン接種の進捗があれば、若干良くなっていく。
	○	商店街（代表者）	・2回目ワクチン接種が終わり、旅行や様々な行事が行われることになれば、景気の上向きも期待できるが、コロナ禍以前の状態までは期待できない。
	○	商店街（代表者）	・しばらくは、東京オリンピックに向け社会が動いていくが、地方では閉幕後の状況が心配である。
	○	一般小売店【鮮魚】（店員）	・緊急事態宣言が解除され、若干良くなってはいるが、この状態がいつまで続くのか不安である。2～3か月後というところ秋口になるが、海水温が高くなっているため、魚種に変化が出ており、海の状態が気になるところである。
	○	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、安心感が出て、若干集客イベントも実施できるようになる。東京オリンピックやパラリンピック開催にも期待できる。
	○	スーパー（店長）	・緊急事態宣言からまん延防止等重点措置へ移行されると、行動範囲の拡大が予想され、それに伴う各商品需要が期待される。ワクチン接種状況が大きなキーワードになっていく。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスワクチン接種も、順調に進んでおり、消費者マインドとしても上向きに転ずることに期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、新規感染者は確実に減少傾向に向かうと考えられる。東京オリンピック終了後、多少のリバウンドがあったとしても、経済活動は徐々に上向いていく。
	○	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が加速しているため、人の動きは戻ると考えられる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・東京オリンピック開催により、自宅で楽しめる商品の売行きに期待している。
	○	コンビニ（エリア担当・店長）	・梅雨明け頃からは、天候も良くなり気温も上がれば、客の様子にも変化が現れると予想される。当市でのワクチン接種の予約も始まり、接種も進んでいけば客の行動も増えていき、来客数も増加してくると考えており、2～3か月後に期待している。
○	衣料品専門店（総務担当）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスに対する心理が落ち着いてくれば、現状より良くなるのではないかと期待している。	
○	家電量販店（店長）	・今月の緊急事態宣言解除後、目に見えて来客数が戻っている。ワクチン接種の拡大の影響も大きいですが、今後は更に来客数が回復すると予想している。	
○	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染が発生してから70%の来客数になっており、大幅に減少している。ただ、売上金額は、100%保っており、1人当たりの単価が上がってきている。冷蔵庫等の白物家電の単価は上がっており、飲食や旅行を控えている分の金が家電に動いていると考えられ、加えて、ワクチン接種も進み、更に単価が上がると期待している。	

○	家電量販店（総務担当）	・東京オリンピックの開催も流動的ではあるが、開催となれば間違いなくテレビを始め映像商品が売れるため、期待している。
○	家電量販店（従業員）	・暑くなり、冷房器具の需要が増える。
○	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・この業界では、巣籠りの影響で、自宅でおいしいコーヒーを飲むことが習慣的になっている。加えて、お中元シーズンに入り、7月からお盆に合わせた進物が出るため、売上は上がっていく。
○	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・ワクチンの普及や隣県での緊急事態宣言解除等が追い風になり、加えて、当県では宿泊キャンペーンやプレミアム付商品券の販売等もあることから、サマーバーゲンセールタイミングとあいまって経済状況は回復するものと見込んでいる。一方で、感染者数の増加や東京オリンピックの開催可否によっては、周囲の景気が悪化する可能性も十分ある。
○	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・ワクチン接種に期待したい。
○	高級レストラン（経営者）	・ワクチン接種が進むと人の動きも多くなってくると予想されるが、感染の恐怖はまだ続きそうである。
○	一般レストラン（経営者）	・まだ県をまたいだ移動が積極的にできないため、県独自の県内補助フェアの実施もあり、少しずつではあるが回復の兆しが見え始めている。
○	観光型ホテル（総務）	・新型コロナウイルス第5波の影響があるかどうかには左右されるが、ワクチン接種が進んできたことが、好要因である。運営するホテル内の宴会やレストランの予約状況に、接種を終えた医療従事者の利用が目立つ。
○	観光型ホテル（専務）	・若い世代にもワクチン接種が広まり、活気付くと予想するが、例年秋のシーズンに動く団体の宿泊が復活するかが不安である。
○	旅行代理店（職員）	・ワクチン接種人口が増え、旅行需要が今以上に増加すると考えている。
○	タクシー運転手	・2～3か月中には、ワクチン接種の効果が現れると期待している。
○	通信会社（営業担当）	・ワクチン接種も進み、旅行等で人の動きも活発になる。
○	通信会社（企画担当）	・ワクチン接種による景況感の見通しは不透明であるが、受注案件の内容や状況では、コロナ禍を前提とした事業に対する需要が増えている。
○	通信会社（営業担当）	・ワクチン接種が順調に進めば、人の往来も少し良くなる。
○	ゴルフ場（従業員）	・日本人プレーヤーの優勝により、数年はゴルフブームが続くと予想され、若年層プレーヤーも増加傾向にある。
○	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・全国的なワクチン接種の拡大で、サービス現場に安心感が出てくることが考えられるが、一方、人材不足の深刻さは、懸念材料として残る。
□	商店街（代表者）	・夏は東京オリンピック・パラリンピックが開催されるが、当市もまん延防止等重点措置が継続されると考えられるため、余り期待はできない。
□	商店街（代表者）	・ワクチン接種が進んでも、外出自粛慣れ等で人の流れが戻らない。また、新型コロナウイルスの新規感染者は減少せずに増加傾向になっており、収束する気配がない。
□	商店街（代表者）	・変わらず悪い商況は、継続される。
□	百貨店（総務担当）	・コロナ禍の状況が、回復しなければ厳しい。
□	百貨店（企画担当）	・人流の抑制が続き、そのため買物の意欲が変わらないのではないかと予測している。
□	百貨店（企画担当）	・ワクチン接種の進展により、感染再拡大が抑制され、旅行や帰省等の需要により、景気が回復することを期待するが、実際の景気回復までは、まだ時間が掛かる。
□	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況やワクチンの接種状況、及び東京オリンピックの影響等先行きが不透明である。

<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・ワクチン接種副反応への不安や3密回避で来店への急回復は難しく、慎重な行動や生活防衛意識は依然継続しているが、購買来客数、客単価、商品単価は好調である。店頭での紳士雑貨やリビング用品、家電製品等自家需要商品、また、嗜好性の高い舶来雑貨や時計美術工芸等は依然堅調である。物産催事を見直し、高額な工芸品で従来にない若い層の来店及び購買の促進を図る。一方、ワクチン接種促進と3密防止の徹底では不安は残り、県内外の往来回復が遅れ、自家需要中心の購買は継続する。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響が今後も続き、来客数に現れると予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場担当）	・前年の売上の比較では、3月の全店舗合計は108.8%であったが、今月は90%となっている。前々年との比較では80%と落ちているが、7～8月には90%に推移するとみている。東京オリンピックの年は、購買力が落ちてくるので、期待できず現状維持となると予想している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経営企画担当）	・緊急事態宣言が解除されて以降、来客数に回復の兆しがあるものの、コロナ禍以前の水準からは3割弱低い水準までの回復しかしておらず、この傾向は継続することが見込まれる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	・コロナ禍の感染者数が落ち着いていけば、巣籠りの反動による外出や外食が増え、食品スーパーマーケットでは売上がダウンすると考えられるが、東京オリンピック景気で下支えされることも予想される。いずれにせよ、新型コロナウイルスの感染状況次第で、景気は強く左右される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種も多くなっているが、現状では新規感染者数が減少するような状況にはない。この状態が来年まで継続するのではないかと危機感を抱いている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・2019年度数値まで回復しなければ、回復とはいえないため、最低2年は変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・店内では、新型コロナウイルスの影響で、商品購入をせずに、ワクチン接種の話題になっている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・東京オリンピックは開催されることになり、感染爆発の可能性もあり、先行き不透明である。ワクチン接種は進んでいくと思われるが、欧州のサッカー試合でも感染者数が増加しており、安心できる状態ではないと懸念している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染が収束するまでは、状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・巣籠り需要もそろそろ一段落してきたようで、現状の売上は若干悪く、しばらくこの状態が続くと予想している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス等状況に好材料がなければ、このまま何も変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（総務担当）	・半導体不足の影響が懸念されるが、一方で新型車の投入が予定されており、何とか前年並みの新車販売台数を確保したい。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・若者へのワクチン接種も順調に進んでおり、活気が出ると予想されるが、東京オリンピックと都市部での感染者数増加が、今後の景気に大きく左右される。
<input type="checkbox"/>	スナック（経営者）	・まん延防止等重点措置が7月の中旬には終了する予定であるが、ワクチン接種が行き渡らない限り本来の来客数は戻らない。東京オリンピックも観来客数に制限があり、景気向上にはつながらない。現在、営業自粛期間中のため、これ以上悪くはならないと考えられるため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・今後イベントが始まるが、余り期待ができない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（統括者）	・6月の携帯電話の販売台数は、前年を下回る予想をしているが、第2四半期の販売見込みは夏商戦が順調に推移すると見込んでおり、前年並みを予想している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（業務担当）	・緊急事態宣言が発出されると売上低下につながるため、今後の感染状況に左右されると予測する。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	・現在の販売量の維持が見込まれる。
<input type="checkbox"/>	観光名所（従業員）	・東京オリンピック・パラリンピックが、景気押し上げの外的要因となることを期待しているが、新型コロナウイルスの感染リバウンドも懸念されるため、先行き不透明である。

□	美容室（経営者）	・2～3か月先は夏の暑い季節になり、例年横ばいの状態が続き秋から忙しくなるが、現在ではコロナ禍であるため、底辺を漂っている状態で、全く客の動きがない。そのため、業界は困窮しており、何かアイデアを出していかなければいけない。東京オリンピックが客の動きにつながるか先行き不透明である。
□	理容室（経営者）	・4月以降から転勤就職により客が一度に減少し、新規の客の来店がほぼなくなってしまい、減少した分のマイナスが継続している状態である。新型コロナウイルスの影響もあり、新規の客は望めず、今後の懸念される。
□	美容室（店長）	・新型コロナウイルスワクチン接種の話題が多いが、すぐに景気が良くなるとは考えられない。
□	設計事務所（所長）	・仕事量は余り変わらず、少ないなりにコンスタントに続いているため、2～3か月先も状況は変わらない。
□	設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響が継続する。
□	住宅販売会社（従業員）	・ウッドショックの影響による住宅価格の上昇が一部で報道されて以降、しばらくは買い控えが続く。
▲	商店街（代表者）	・コロナ禍の影響による商店街全体の落ち込みは否めない。コロナ禍が収束に向かっても、すぐには元の状態には戻らない。
▲	一般小売店〔青果〕（店長）	・当地では、一旦新規感染者数が減少したが、再び新型コロナウイルス感染者数が増えている状況になっており、客の購買意欲にも影響が出てくる。また、東京オリンピックが落ち着いても変異株の不安もあり、厳しい状況が継続する。
▲	一般小売店〔精肉〕（店員）	・卸先飲食店の座席数減少や時短営業により、販売量の予測が付かない。
▲	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・これから先の3か月は真夏日となり、売上には期待できない。ワクチン接種が完了してもすぐには元に戻らない。
▲	百貨店（業務担当）	・行事やイベントが今年も中止になっており、人の動きはいまだに止まったままで、その水準が普通になりつつある。今後、消費行動が元に戻るまでには、相当の時間が掛かると予想される。
▲	スーパー（企画担当）	・足元の景況感を考慮すると、先々が見通せないというのが正直なところである。消費者も新しい生活様式に慣れてきており、慌てて買い込むことがなくなっている。売上高の伸長は、よほどのことがない限り厳しい状況である。
▲	スーパー（経理担当）	・緊急事態宣言の解除やワクチン効果等で経済活動が活発化すれば、旅行や外食等が元に戻り、内食を担うスーパーマーケットは一般的に客は減るが、都市部の店舗では、更に客が戻ってくる。
▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染が、いつまで継続するか分からず、疲れが出ている。財布のひもも締めてきている状況である。
▲	住関連専門店（従業員）	・実店舗での営業形態のため、例年どおりならば猛暑日になると来客数が大きく減少する。また、東京オリンピックや夏休みでの新型コロナウイルスの感染状況への影響も、本年は大きな懸念材料である。
▲	高級レストラン（経営者）	・時短営業の要請があつてから、どん底であつたため、時短営業要請がない7～8月は、現状より良くなるとは考えられるが、景気が戻るとは思われない。東京オリンピック開催もあるが、先行きは懸念される。
▲	ゴルフ場（営業）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いているようであるが、東京オリンピック後は、再び感染者数増加で緊急事態宣言の発出により、再び人の動きが制限され、景気は悪くなると予想している。
▲	設計事務所（所長）	・地方では仕事に対する対価は上がらず、人件費や材料費、加えて、生活必需品の価格は上昇しているため、可処分所得が下がっており、この傾向はまだ続く。
▲	住宅販売会社（従業員）	・ウッドショックの問題が日本で話題となり、木材価格が非常に高騰している。現在請負契約をしている工事の価格の転嫁がしにくいことで、利益を圧迫してくる。下手すれば、リフォーム工事等で赤字受注になってしまう状況になる可能性がある。3か月先は利益が取りにくく、景気は悪くなる。

	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・生花のギフトが主力の生花店であるため、これから猛暑となり、生花のギフトを控える傾向にあり、消費するイベントもお盆くらいであるため、コロナ禍で良くなる状況にはない。	
	×	スーパー（統括者）	・今後は、ワクチン接種も進み、人の流れも大幅に増大していくと予測され、今まで逆風だった業界が追い風となり、スーパーマーケットやドラッグストア関連のような小売業が容易でない戦いになると予測する。	
	×	乗用車販売店（代表）	・新型コロナウイルスの影響で悪くなっていく。	
	×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・東京オリンピック開催等で、更に新型コロナウイルスが感染拡大するおそれがある。	
	×	タクシー運転手	・東京オリンピックが始まるが、再び新型コロナウイルスの感染拡大の懸念がある。当地での消費動向は、まだまだ悪い状態で推移している。	
	×	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・客の手持ち工事が激減しており、予定操業時間がたもてないことが予想される。	
企業 動向 関連 (九州)	◎	電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先からの更なる増産に対応するために、設備や人材の増強要請を受けている。	
	◎	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・海外向け車両を中心に、計画に対して増産になり、繁忙が続いている。	
	○	食料品製造業（経営者）	・前年と比べれば商品の引き合いが強くなっており、ワクチン接種後に向けての消費拡大に期待している。	
	○	化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息状況次第である。	
	○	金属製品製造業（事業統括）	・引き合い数は、前年比15～20%増加している。	
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・半導体の動きがどこまで良くなるか、また、どれだけの需要に応えられるかにより、その他の電機部品に関しても若干の上向きがあると予想される。	
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・回復し始めている状態かどうか疑心暗鬼である。	
	○	電気機械器具製造業（総務担当）	・世界的な半導体不足から、半導体関連事業の生産が好調で、取引先のフォーキャスト情報も右肩上がりである。	
	○	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・コロナ禍も若干落ち着いたため、取引先では生産ラインのシフトを2～3交代制で稼働中のところもあり、生産量も1.5倍～2倍に上がっている。	
	○	輸送業（総務担当）	・ワクチン接種が若年層にも普及すれば、気分的には上昇する。市場は人間の心理に左右される面もあるため、今よりは良くなるのではないかと推測する。	
	○	経営コンサルタント（社員）	・緊急事態宣言解除後は、消費が徐々に増えていく。	
		□	農林水産業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、梅雨明けには、若干回復してくると期待している。東京オリンピック効果もあり、若干であるがハラル商品の引き合いもある。ただし、ワクチン接種が行き渡る秋口にならなければ、本格的回復にはならないと危惧している。収益は合理化や経費節約で、何とか赤字を免れているが、厳しい状況であることには変わらない。
		□	繊維工業（営業担当）	・展示会が少なくなり、仕事量につながるには時間が掛かる。最低賃金が上がり、中小企業の経営が維持されるか懸念される。
	□	家具製造業（従業員）	・新型コロナウイルスに対するワクチン接種が、年代問わず急速に進まない限り、今後の見通しが立たない状況はまだ続く。しかし、来期以降の案件情報は、多少増えている。	
	□	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・全体的な納期後倒しが目立つ。	
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・受注関係は、夏に向かうため余り期待はできない。ワクチン接種の状態では、祝い品等の購買も若干出てくるとは思われるが、期待をするほどではないと予想される。	
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・引き合いや見積りの状況が、前月と余り変わらない。	

	<input type="checkbox"/>	建設業（社員）	・工事自体は、まだ発注されるとは考えられるため、景気も良さそうに見えるが、決してそうではなく、受注したい工事が受注できない状態である。今は、一層営業活動を実施していく。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（従業員）	・コンテナや半導体不足は、一朝一夕で解決する問題ではないため、景気がすぐに好転するとは考えにくい。
	<input type="checkbox"/>	通信業（経理担当）	・ワクチン接種が進んでも、劇的な改善は予想しにくい。
	<input type="checkbox"/>	金融業（従業員）	・公共工事は高水準で推移しているが、新型コロナウイルスの影響で、飲食店やホテル、旅館及び旅行業等では厳しい状態が続いており、先行きの不安感も払拭されていない。
	<input type="checkbox"/>	金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスワクチンの職域接種も始まり、長らく漂う閉塞感の打破に向けて期待は高まるものの、急速な景気回復は見込めない。前年休止となった各種イベントや学校行事等は徐々に再開されつつあり、新しい生活様式を模索する動きが顕在化している。
	<input type="checkbox"/>	金融業（営業）	・全体としては、景気回復にはまだ時間を要するが、ワクチンが行き渡った国の景気が回復してくると、製造業から立ち直ってくると考えられる。
	<input type="checkbox"/>	金融業（営業担当）	・ワクチン接種は確実に進んでいるが、新型コロナウイルスの変異株が増加傾向であり、再び感染者がかなりの確率で増加する可能性がある。そのため、この2～3か月の景気は、全業種及び消費に変化はないと予想される。
	<input type="checkbox"/>	金融業（調査担当）	・緊急事態宣言解除が行われ、集団ワクチン接種が本格化しているが、接種完了にはもう少し時間が掛かりそうである。また、東京では新型コロナウイルス新規感染者のリバウンド兆候がみられ、今後の感染者数の推移次第では、経済に再び影を落とす可能性があることから、サービス業等の回復にはもう少し時間が必要である。
	<input type="checkbox"/>	新聞社〔広告〕（担当者）	・景気が良くなる好材料がないため、変わらない。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、景気回復まで1～2年ほど掛かり、息切れしてきた企業が増えている。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（役員）	・客における経営数字の回復が、当社の収益に反映されにくいことが慣習化しており、3か月後予想がまだまだ厳しい。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント（代表取締役）	・ワクチン接種が進み、東京オリンピックの開催等好材料はあるが、確信が持てない状況である。先行きが見えず、状況が不透明なため、判断ができない。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント（社員）	・当分は、新型コロナウイルスの影響で営業が難しいため、状況は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセスや問合せ件数に変化がない。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔物品リース〕（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで若干の回復は見込まれるが、ワクチン接種による効果が、経済的どの程度影響を及ぼすかが不透明である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・売上減少に伴い、悪くなると予想される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	通信業（職員）	・前年度はコロナ禍によるIT需要が高まり、受注量が増えたが、今年度は需要はあるものの、半導体不足により納品ができず、案件が来年度へずれ込む可能性がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	不動産業（従業員）	・賃貸部門の入居率が、低下傾向で推移している。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・市町村は、前年度に新型コロナウイルス対策のために予算化できなかった必須業務は、今年度の4～5月に既に発注済みのものが多い。現在、ワクチン接種に予算を割り当てているため、新たに補正予算で追加される業務が見込めない状況にある。このため、更に景気が悪くなると予想される。
雇用 関連 (九州)	<input checked="" type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集者）	・7月11日までのまん延防止等重点措置が解かれ、また、コロナ禍の影響がほぼなくなるという前提で、景気は急速に上向くと考えている。とにかく夏の需要をいかに取り込んでいけるかが各社のテーマであり、同時に人の確保が大きな課題になる。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種率も増え、加えて、時短営業等の規制もなくなり、人の往来が以前よりは多くなっている。旅行客も徐々に増加し、商業施設等でも人手は増えている。

○	人材派遣会社（社員）	・自治体でのワクチン接種や民間の職域接種も始まっており、まん延防止等重点措置が解除されれば夏の暑い時期も重なり、飲食店では客足が良くなるのではないかと考えられる。
○	新聞社〔求人広告〕（社員）	・緊急事態宣言も解除され、ワクチン接種も進みつつあり、2～3か月先の景気は良くなる。しかし、人の動きが活発になると、経済活動も活発になるが、広告宣伝の動きは、まだ慎重な企業が多い。特に、新型コロナウイルス感染者数と密接な関係がある、旅行関係の広告は、一時期のゼロからは回復しつつあるが、動きが鈍い。春先に、一旦獲得した客が、結局キャンセルとなり、東京オリンピックによる感染拡大が危惧されるなか、かつてのような広告宣伝活動に戻るには、まだ時間が掛かりそうである。
○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスについては、ワクチン接種が進んでおり、飲食店の時短要請等もなくなり、消費も活発になると考えられる。東京オリンピックや夏休みも景気上昇に寄与する。
○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・緊急事態宣言が解除され、ワクチン接種が年内までに進むことで、企業活動が徐々に再開されると予想する。景気も少しずつ回復するとは考えられるが、新型コロナウイルス発生以前に戻るには数年掛かるのではないかと懸念される。
○	職業安定所（職員）	・ワクチン接種等の新型コロナウイルス感染対策が進んでおり、雇用情勢の更なる改善が見込まれ、新規求人数は増加傾向にある。
□	人材派遣会社（社員）	・異動や産休に伴う社員の不補充枠等で派遣受注が動いているが、新規受注等はなかなか入らない。
□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況に求人数が間接的な影響を受けていることから、ワクチン接種が進み、希望者が摂取を終了し、感染が抑制されれば、景気が回復すると予想している。しかし、現在はワクチン接種が途中であるため、今後大規模な感染拡大がなければ、現状維持で推移する。
□	職業安定所（職員）	・求人数の現状が通常レベルと判断する。
□	民間職業紹介機関（職員）	・前月は、ワクチン接種も進み経済活動が復活し、2～3か月では明るい予想をしていたが、変異株等の感染拡大の可能性もあり、コロナ禍の収束も見通せない状況となり、企業の積極的な人員増加はしないと予想される。
▲	人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種会場案内業務終了後の動向がみえない。
▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が長期化していることから、体力が続かない企業が見え始めていることに加えて、雇用調整助成金が縮減されれば、経営困難に陥る企業が少なからず出ることが予測される。
▲	学校〔大学〕（就職支援業務）	・緊急事態宣言は解除となったが、引き続きまん延防止等重点措置を講じられるなど、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が続いている。また、ワクチン接種のめどはついてきたが、業績の低迷から抜け出すには、もうしばらく時間が掛かると推測される。
×	*	*